

## ワシントン大学 短期語学研修を通して

函館校・地位協働専攻・2年・水野可奈美

### 1) 授業に対して

わたしの配属されたクラスは他県から来た大学生と、台湾と韓国から来た生徒3名の合わせて30名ほどのクラスでした。授業内容は、配布された教科書に沿って行われたり、ディズニーの実写映画を英語音声で見たり、ペアワークを行ったりといったものでした。意外と日本でも行うような安易で馴染みのあるような授業内容に感じました。他のレベルの高いクラスではクラス内ではオールイングリッシュであったと聞きましたが、わたしのクラスでは授業以外では日本語が飛び交っていました。そのためクラスによって英語を使う頻度も変わります。クラスは初日に簡単なマークシート形式の文法と読解のテストとスピーキングのテストによって分けられます。そのためより高いレベルのクラスに行きたければこの研修に参加する前にもある程度のスピーキング力を身に付けておいた方がよいと思います。また授業は大体午前中に終わります。午後は、週に二回ほどアクティブ活動と言って、シアトルの有名なところに観光にいたり、大学内の施設を見学したりしました。良かったと思ったところは他国の友達が出来たことです。わたしは放課後は、函館校から一緒に参加した友達一人と、他大学から参加した日本人の友達四人と、同じクラスで仲良くなった台湾の友達一人と行動していました。台湾の子がいたおかげでわたしたちは放課後も英語で話すことが出来ました。日が経つにつれて会話が膨らみ仲良くなっていったことがとてもうれしかったしとても良い経験になりました。

この研修で思ったことは、正直3週間では英語で話すことに関して大きな成長が見られたかはわかりません。もちろん少しは話せるようになってきていると思うし、また英語で会話することに対しての抵抗は無くなり、逆に自信が付き積極的に英語で話すことが出来るようにはなったと思います。どうにかして伝えたいという思いが行動に現れ積極的に話すことができるようになったと思います。リスニング力に関しては成長を感じられたかなと思います。聞き取ってから理解するまでの時間も少し短くなった気がします。

次回このプログラムに参加する生徒の皆さんに伝えたいことは、授業内、放課後、他国の生徒、ホームステイ先、バスやお店など、たくさん自分から質問して会話することがどれだけ自分の英語力を成長できるかに関わってくると思います。

### 2) 生活体験、シアトル都市の様子、伝えたいこと

まず、わたしはこの体験にモバイルwi-fiを持っていきませんでした。理由は、前回こ

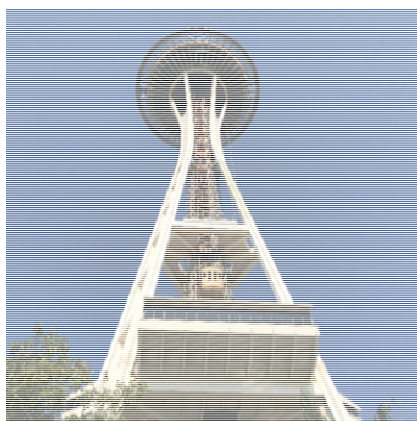
のプログラムに参加した先輩が持っていかなくても生活できたという体験談を語って下さったのと、借りる際の費用が安くはなかったからです。しかし、わたしは実際にこのプログラムに参加してみて、モバイルwi-fiは持って行った方がよかったですと感じました。一番そう感じた理由は道中で地図アプリを使えないことです。大学内には無料wi-fiが通っていて、またカフェやショッピングモールなどお店でも無料wi-fiが通っているところはある何か調べたいことがあればそれらの場所に移動すればなんとかはなりました。しかしこっちに来たばかりの時はもちろん土地勘は全くない状態だったのでwi-fiのない道端で地図アプリが使えないことがとても不便であり、不安でした。またわたしを含め、周りの友達のホームステイ先のほとんどでは帰る時間などを伝えるために家に帰る前に連絡を取ることが決まりでした。このような時も、モバイルwi-fiがないと不便に感じました。友達といるときは持っている友達に借りることもできましたが、彼女たちもお金を払って借りているわけで、また充電式なのでたくさんは使えなということもあり、借りづらかったです。そのため次回このプログラムに参加する生徒のみなさんには、少し高額（おそらく3週間で3万円くらい）な費用はかかりますが、有意義でためになるプログラムにするためにもモバイルwi-fiは借りることをおすすめします。

次にホームステイについてです。まずこのプログラム開始日以前に届いたホームステイ先の家族の情報についてのメールでは、子どもなし、ペットなしと記載されていました。しかしその家には実際には犬が2匹いました。わたしは動物は好きなのでいきなり犬が2匹いても問題はありませんでした。最初みたときは驚きました。そのため次回このプログラムに参加する生徒の皆さんも、事前に来る情報と多少の違いはあるかもしれないことは想定しておいた方がよいかもしれません。もし今回のわたしのようなことが起きた時、犬が苦手なので困るということがないように、事前に、参加する生徒側の情報をホームステイ先に送るアンケートのようなものがあるので、そこに自分の苦手なものなどしっかりと記載することをおすすめします。またわたしのホームステイ先は衣類の洗濯が週に一回の家庭でありとても困りました。服は同じものを何度か着まわすことは出来ましたが、下着類はそうもいかなのでとても困りました。しかしこのようなルールはホームステイ先によって違うので全部の家庭でそうであるわけではありません。

次にシアトルの街についてですが、わたしは事前にシアトルはスリが多いと聞いていたので、常に財布とパスポートなどの貴重品は小さめのショルダーバッグに入れて他の勉強道具などはリュックに入れて登校していました。周りの生徒にも同じようにしている人が何人かいました。

最後に、わたしが次回このプログラムに参加しようと考えている生徒のみなさんに一番伝えたいことは、わたしはこのプログラムに参加してとても良かったなと思っているということです。先に述べたように、スピーキングやリスニングなどの英語力が大きく成長したと言えるかは正直分かりません。しかし、はっきりといえることは、英語に関

わる姿勢が積極的・意欲的になり、もっと英語が得意になりたい、もっと英語に触れたいと思うようになりました。このプログラムは参加した生徒の、英語を勉強することに関してのモチベーションをあげてくれるとても良い経験になることと思います。このプログラムに参加しようと考えている、または迷っている生徒の皆さん、ぜひ参加してみてください。



左上：スペースニードル 右上：セーフコフイー

ルド 下：修了式（クラス写真）